



品川シルバー大学同窓会

会報

平成 30 年 11 月 14 日

第 78 号

品川シルバー大学同窓会
〒140-0062
品川区小山6-6-10
TEL 080-6634-6797

第 3 回 見学会 報告

新東京丸視察船

- 日 時 平成30年9月21日(金)
- 参加者 午前 52名 午後 39名



見学会に参加して

野口 健夫

9月21日(金)の見学会は、彼岸の入り墓参で祈念も空しく、秋雨前線が居座り、気温も上がらず、少し肌寒ささえ感じる雨模様の中、開催されました。悪天候にも拘わらず相変わらず好奇心旺盛な多くの方が参加し、竹芝桟橋小型船ターミナル待合室は天気とは裏腹に会員の方々の熱気に包まれていました。

今回は午前と午後、2回開催されましたが、午前の部に参加しました。丁度、通勤時間帯にあたり、久しぶりに寿司詰めの満員電車で揺られ浜松町駅に降り立ち、東芝や東京ガスに向かう通勤者の列に混ざって歩くと現役を退き10数年経った身は周囲の流れに同期できていませんでした。知ったかぶりの浅はかさで、若干寄り道しながらなんとか待合室に

到着すると、既に同輩の方が多数お待ちでした。

竹芝埠頭には、毎夏、小学生だった息子たちと伊豆諸島に海水浴に出かける際、バブル期にはレストランシップ「ヴァンティアン」で同僚たちとディナークルーズ、最近では中学の同期会でランチクルーズなど何度か訪れていますが、竹芝小型船ターミナルからの乗船は初めての経験でした。

10時過ぎに浮桟橋に197トンの行政視察船「新東京丸」が着岸し、小雨降る中、乗船開始しました。行政視察船とはいかなるものか？興味津々で中に入ると中央には円卓、窓際にはパイプ椅子が配置され、いつでも会議ができます、という佇まいの船内でした。

前方窓際に席をとったので、箕輪氏、篠原氏を拝顔することなくご説明を背面から受け、ご説明者の懇切丁寧なご指示に従い、顔を右に左に揺り動かして窓の外を参観しました。

窓の水滴の向こうに小雨に煙る、日の出埠頭、芝浦埠頭、レインボーブリッジ、品川埠頭、大井コンテナターミナル、中央防波堤、東京ゲートブリッジ…、豊洲市場、お台場公園…、



2020オリンピックに向けた各種施設などが次々と現れ、目と心で見学しました。

現役時代、大井火力発電所煙突内脱硝設備、ガントリークレーン揺れ止め設備、冷凍冷蔵設備に携わり、昼夜を厭わず奮闘しました。今回は気楽な傍観者としてプレッシャーを感じることもなく微かに眺めた施設群も現役、休止と様々な人生、哀愁を感じます。素晴らしい企画立案、ありがとうございました。

(平成25年入会)

参加者からのひとこと感想

- ・生憎の天気で残念！ 普段見ることも出来ない風景を見ることが出来ました。説明が分りにくい!!
- ・東京の発展がこれほど進んでいるとは思いませんでした。大変面白かったです。大都市東京のゴミの処理場となっている東京湾のこれからも綺麗な海が保てるのでしょうか？
- ・雨は残念でしたが、来る港が昭和16年以降、日本一の港になり働きが説明でわかりました。
- ・雨で眺めが、いまいちだったのが残念ですが、知らなかった東京港についていろいろ理解できて、楽しかった。
- ・周りの風景は良く見えませんが、説明が面白く、パンフレットを合わせて良く理解できました。
- ・毎日眼下に見ている東京港をまじかに船上から見られて良かった。降雨なければGOODでした。
- ・生憎の雨で見えない部分も多く想像を主とした船旅でした。晴れた日に来たいと思います。
- ・降雨でたいへんな日でしたがでも、雨の中でも満足でした。
- ・東京湾の歴史役割等良く分りました。
- ・このような視察船あったことを初めて知りました。見学出来たことを嬉しく思います。有難うございました。崎陽軒見学もお願いします。
- ・気持ちいい海風、空気を吸いながら身近な場所なのに知らなかった素敵な海族に感動しました。計画たてて下さったスタッフの

皆様有難うございました。

- ・再び視察船に乗せていただき日々変わっていく。船の上から見た東京をびっくりしたり、広大な未来を思わせくれました。雨天の中でしたがしばし観光気分を味わいました。有難うございました。
- ・東京湾の巨大化、システム化に驚いた。その物流化はどうなっているのか、知りたいと思った。
- ・雨の中であったが、東京湾のクルージングで東京の事が良くわかった。新鮮であった。



第3回講演会報告

西郷隆盛の魅力を語る

(勝海舟と坂本龍馬が惚れた男)

講師 敬天愛人の会 事務局長
小牧 完次 先生

- 日 時
平成30年10月25日(木)
14~16時
- 場 所
荏原第5区民集会所
2階第一集会所
- 参加者 86名



講演会要旨

講演の始めに学び方として安岡正篤の「人を動かす言葉力」について話をする。

知識(基礎知識、一般知識、専門知識)とは、本を読む、人から話を知るレベル。見識とは、多くの知識とその人の体験を加えた判断力。胆識とは、知識、見識が深まった上で障害があってもやり遂げる信念が実行力となったレベル。

気づきなくして成長なし 「5つの気づき」

- ①問題の気づき ②マイナス(短所)の気づき
- ③プラス(長所)の気づき ④目ざめの気づき

⑤知恵の気づき

温故知新とは、過去から良いものを学び未来に継承していくことも必要。

今年は、明治維新から150年を迎え西郷生誕191年に当たる。西郷隆盛は薩摩藩主第11代島津斉彬に見出されて斉彬の人脈で、多くの江戸の俊才に出合い人脈と組織づくりを学んで斉彬を生涯の師と仰いだ。

明治維新で活躍した西郷は、革命家であり軍人であり行動の人として、坂本龍馬、勝海舟、大久保利通などの同時代の人々に尊敬され西郷内閣（明治4年～6年）で人権問題、封建的身分制度の廃止など現代の近代国家の基礎を成したのは、西郷内閣の時代でした。

明治4年7月の廃藩置県は、700年来の武家封建制度を一兵も動かさず、一滴の血も流さずに一朝に一掃され西郷の人徳、人望であったと云えます。

明治6年の征韓論で下野した後、鹿児島に帰郷して私学校を建立する。

明治9年4月15日に創設された「田上小学」の校名を揮毫してくれた話。今年で創立143年を迎える田上小学校は、毎年4月15日全校生徒が西郷ゆかりの地を遠行している。

島津藩の郷中は当時33あり田上郷中に参加した体験談。

西郷や大久保も鹿児島城下の下級武士居住地域「下加治屋郷中」に属して郷中教育の中心「負けるな、弱いものをいじめるな、ウソを言うな」を何十回となく頭に叩き込まれ、後輩を指導する。

5年間に及ぶ流刑された島での生活で悟った「敬天愛人」の精神は庄内藩が作成した西



郷南洲翁遺訓に考え方が語ってある。

写真を残していない西郷は、未完成の人であり、人徳、人望は永遠の宝石となった人物でした。

参加者からのひとこと感想

- ・西郷隆盛、勝海舟、坂本龍馬との近代国家（明治維新）に向かったの役割、生き方等の資料有難うございます。資料内容等再確認したいと思います。
- ・大変元気のよいお話っぷりで内容も分かりやすく面白かったです。西郷さんを好きになれそうです。
- ・私たちの知らないことを教えてくれた1日10回感謝。さっそく実行します。
- ・とても分り易く、楽しくご講演と現代とのあまりもの違いに、居眠りする暇もなく西郷さんを中心に私生活と共にお話し有難うございました。
- ・歴史の事実を聞きたかった。先生は思想的な背景が多かったと思う。ただ具体的な鹿児島島の説明は良かった。
- ・テーマとしてまとまりがなく、予想外であった。
- ・本命をもっとしっかり話してほしかった。折角レジメがあるのだからそれに沿って分り易く簡潔に話して欲しい。
- ・西郷隆盛の事を主にして、勝、坂本とのかわりを話してもらいたかった。

役員会だより

区文化観光課との懇談会について

同窓会と区の生涯学習を担当する文化観光課とは、同窓会活動等の円滑な推進等を図るため定期的に連絡・懇談会を催しています。今年度は9月5日（水）立川文化観光課長と桑谷生涯学習係長と同窓会役員との懇談を行いました。高齢化時代を迎え生涯学習は益々重要になり区としてもその充実に努めているところ。同窓会も基本的には自主的自立的に運営するが、適宜区からの指導・支援も受けつつ、さらにより良い同窓会活動を目指すという認識で一致しました。区からは、生涯学習の現状などについて報告があり、同窓会か

らは活動の現状と課題などについての報告と区への要望事項などについて議論しました。同窓会としては、当面の目標である月1回の講演会や見学会、年6回の会報の発行などを達成しましたが、会員のより利便性を高めるためメールなどでの連絡体制を試行していますが、これらは役員個人の機器や回線を利用するためかなり限定的にならざるを得ない等の悩みについても議論しました。解決策はなかなか難しいと思われまます。今後とも従前にも増して区からの指導・支援を得つつ、円滑な同窓会活動を推進していくこととしました。

会報に会員コーナーを

現在同窓会には、21名の役員が居てそれぞれ事務局、会計部、事業部、広報部に所属し、月3回程度の役員会を開催し各事業を展開しています。限られた21名の役員で400名以上いる会員のニーズを的確に捉えるには必ずしも十分とは言えません。そこで会員の皆様の率直な要望やご意見を同窓会活動に反映させるべく何時もそれを求めています。なかなかうまく機能しません。この会報にもぜひ役員会だよりと共に「会員だより」のコーナーをと思っております。会員の皆様の、同窓会に対する希望やご意見、個人のサークル活動の報告、日常生活や旅の報告等なんでも投稿いただければと思っております。奮ってご応募下さい。

川柳雑詠

なおみで大阪ただ乗り大儲け
妻の留守二泊三日が理想的

のぼる
のぼる

寒い夜は黙って鍋になる夫婦

公二

年賀状やめればきつと切れる縁

公二

久しぶり目線は友の太鼓腹
猫にする半分でいい俺の世話

邦彦
邦彦

「ほのぼの川柳会（旗の台文化センター）」より



講演会・見学会のご案内

★A 区民プロフェューズ型講演会(第4回)

演題 寺社めぐりの愉しみ方

講師 船山康一先生 寺社巡り探訪人

日時 平成30年12月14日(金)

14時～16時

受付 13時30分～13時50分

場所 中小企業センター3階
レクリエーションホール

★B 見学会(第5回)

行先 すみだ北斎美術館と両国界隈

日時 平成31年1月29日(火)

13時～16時

集合 JR両国駅西口改札口

受付 12時20分～12時50分迄

会費 300円

詳細内容・申込み方法

同封のチラシを参照ください。
多数の方のご応募をお待ちしています。

締切日 平成30年11月30日(金)

~~~~~

★今後の行事予定

(詳細は1月号にご案内)

・第5回講演会

演題 オリジニック・パリンピック  
と品川

日時 2月下旬予定

・第6回見学会 バス旅行

行先 グリコピア・イースト工場  
見学と長瀬

日時 3月中旬予定